



あっという間に過ぎた69日。今日で1学期が終了しました。保護者・地域の皆様の大きな御支援により、子どもたち一人ひとりが様々な体験をすることができました。大変ありがとうございました。明日からの44日間が、有意義な夏休みになることを願っています。

子どもたちの企画力に驚かされました!!～七夕願い事集会～

7月1日(水)、「七夕願い事集会」が行われました。毎回子どもたちの企画で楽しませてくれる集会ですが、今回は集会全体を物語仕立てにして、第1章から第5章までの場面ごとに、様々なミッションに挑戦しました。ふれあい班で声を出したり、体を動かしたり、クイズに取り組んだり、楽しい一時となりました。7月7日の夜空を見上げて、集会のことを思い出してくれたでしょうか。

この集会のためにシニアクラブの皆様が、笛やこよりを用意してくださいました。地域の皆様の支えで続けられることに心から感謝を申し上げます。



七夕の物語を熱演!!



ミッション「あいさつゲーム」



短冊に願い事を書く子どもたち



教室に戻って完成!!

由宇のまちを美しく!!～クリーン作戦で地域貢献～

7月2日(木)の掃除の時間に、全校で学校内外のゴミ拾いを行いました。これは中学校区共通の取組で、地域を大切にする心を育てるために継続して行っているものです。暑い中でしたが、子ども達は落ちているゴミはないか懸命に探し、体育館周辺、運動場、由宇グラウンドや学校周辺などのゴミを一つずつ拾っていきましました。ふるさと由宇の未来を創るのは、子ども達です。自分達のまちをきれいにしていこうという気持ちがあふれていた時間でした。



あこがれの連鎖で紡ぐキャリア教育推進事業

～「やまぐちPRIDE」実践研究推進校指定～

「由宇小だよりNo.1」で、由宇小が山口県教育委員会から、「やまぐちPRIDE」実践研究推進校の指定を受けたことをお知らせしました。新年度スタート後、この事業は、「あこがれの連鎖で紡ぐキャリア教育推進事業」と名称を変更し、キャリア教育の視点を加えつつ、「やまぐちPRIDE」の醸成を図ることになりました。由宇中学校区では、「やまぐちPRIDE」を「ゆうPRIDE」とし、地域への「あこがれ」を起点に取り組んでまいります。由宇地域のすばらしさを全県に発信していきたいと思ひます。変わらぬ御支援をお願いいたします。



ふるさと由宇の
未来をつくるのは
わたしたち!!

- 将来の夢や目標がもてた
 - 自分のよいところに気付けた
 - 由宇のために役に立ちたいと思つた
 - 地域のみなさんをすごいなと思つた
- 地域のみなさんとの学習を通して感じた、
上のようなふりかえりを送ってください。

子どもたちの中に育てたい心をブラッシュアップ!!

子どもたち一人ひとりにとって、より身近なものに!!～学校・地域連携カリキュラム～

子どもたちやボランティアの皆様からのメッセージを募りながら、よりよいものを目指してきた由宇小の「学校・地域連携カリキュラム」。本年度は、これまで以上に子どもたち一人ひとりに「自分事」と感じられるように取組を進めています。「学びの足跡」には、子どもたちの声を生かした記録を残し、子どもたちからのメッセージは、二次元コードに加え、低学年用にポストも設置しています。寄せられたすてきなメッセージは、放送委員会の子どもたちが昼の放送で、「ふるさと由宇の未来を創るのは私たちです。」という力強いメッセージを添えて紹介してくれています。

様々な年代の方々への「あこがれ」を通じて、「将来の夢や目標」「自分のよいところ」「由宇のために役に立ちたい」といった心が、育ってくれることを願っています。

2学期からも、子どもたち一人ひとりの「ゆうPRIDE」の醸成に向けて取組を進めてまいりますので、保護者・地域の皆様の一層の御支援をお願いいたします。



地域の皆様との学習の足跡が残っていく「学校・地域連携カリキュラム」と、子どもたちやボランティアの皆様から寄せられた多くのメッセージ

前期学校評価アンケート（地域）のお願い

由宇小では、学校経営の一層の充実を目指し、教育活動や家庭・地域との連携等について、年2回のアンケート調査を実施し、取組の改善に生かしています。地域の皆様にも御意見をお尋ねするようになって3年目となりました。右の二次元コードから、地域の皆様のお声をぜひお聞かせください。回答可能な設問のみへの御回答も大歓迎です。よろしくお願いいたします。

【回答期限：令和8年8月20日(木)】

※ 保護者の皆様は、「保護者アンケート」にのみ御回答ください。



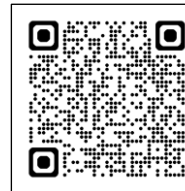
学校における保護者等対応ガイドライン～山口県教育委員会～

山口県では、全ての公立学校に導入しているコミュニティ・スクールを核として、学校と家庭、地域が対話や連携を通じた相互理解を図りながら、子どもたちの学びや育ちを支える取組を進めています。

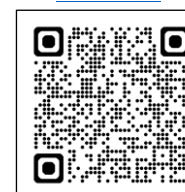
こうした中、近年、価値観の多様化等により学校への要望が複雑化し、長時間の対応が必要になる事例も発生しており、教職員が子どもたちと向き合う時間や教職員の勤務環境に影響が及ぶような課題も生じています。

こうした状況を踏まえ、学校と家庭・地域が、子どもたちとともに育てるパートナーとして、相互の理解促進を図るとともに、教職員が安心して働ける職場環境を実現することで、子どもたちにより良い教育を提供できるよう、「学校における保護者等対応ガイドライン」を策定しましたのでお知らせします。

皆様方におかれましては、本ガイドラインの趣旨を御理解いただき、子どもたちのより良い教育環境の実現に向けて、引き続き、御協力をお願いします。



ガイドライン
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/235519.pdf>



リーフレット
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/237057.pdf>